2 知ってる？税金の使い道

- 東京書籍　P162、164
- 教育出版　P156
- 帝国書院　P157～158、161

～ 国や地方公共団体は、税を使ってどのような活動をしているのだろうか ～

「公共サービス」や「社会資本（公共施設）」を提供するために、どのくらいの費用が使われているのか見てみましょう。

公共サービス

公共サービスとは、ゴミの収集や処理、警察や消防など、生活に欠かすことができないもので、民間の経済活動では生み出すことが難しいものです。

警察・消防費（令和２年度）

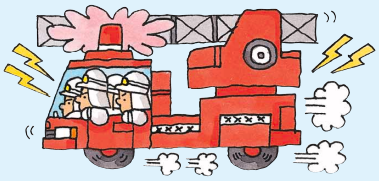
総額5兆4,460億円
（国民一人当たり 約43,172円）

国民医療費の公費負担額（令和元年度）

総額16兆9,807億円
（国民一人当たり 約134,589円）

市町村のゴミ処理費用

総額2兆4,886億円
（国民一人当たり 約19,728円）



高層用はしご車　約1億6,000万円／台
ポンプ車　約1,300万円／台

ある試算によると、
救急車が出動した場合の
１回当たりの費用は…

約45,000円

北海道の公立小・中学校に通う児童・生徒　一人当たりの年間教育費の負担額（令和元年度）

小学生

約1,139,000円

中学生

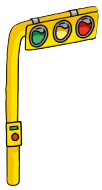
約1,269,000円

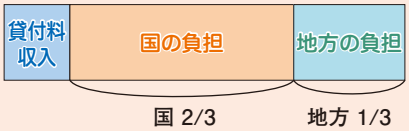
社会資本（公共施設）

社会資本（公共施設）とは、公立学校や公園、道路など、誰もが利用できる施設です。

ウポポイ（民族共生象徴空間）　建設費等　約200億円
提供:北海道開発局

信号機　１基当たり
240～470万円
（全国に約21万基）



北海道新幹線　建設費等
約2兆3,000億円（令和4年12月試算額）※
提供:北海道旅客鉄道株式会社（JR北海道 H5系）

※　新幹線建設の財源については、JRからの貸付料収入を充てた残りの部分について、国が3分の2、地方自治体が3分の1を負担することとなっています。